

令和元年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

関市公共交通活性化協議会

平成21年3月21日設置

フィーダー系統 平成30年6月28日 確保維持計画策定等

地域の特性

- ・ 岐阜県の中心部に位置
V字型 472.33km²
- ・ 長良川鉄道が市の中心部を南北に運行
- ・ 市内移動の大部分をバスで担う

公共交通計画名及び期間

「関市地域公共交通網形成計画」
(平成29年度～平成33年度)

網計画で目指す公共交通の将来像

ずっと暮らし続けられる関市を支える 地域公共交通ネットワークの構築

方針1

高校生が公共交通で通学できるサービスの提供

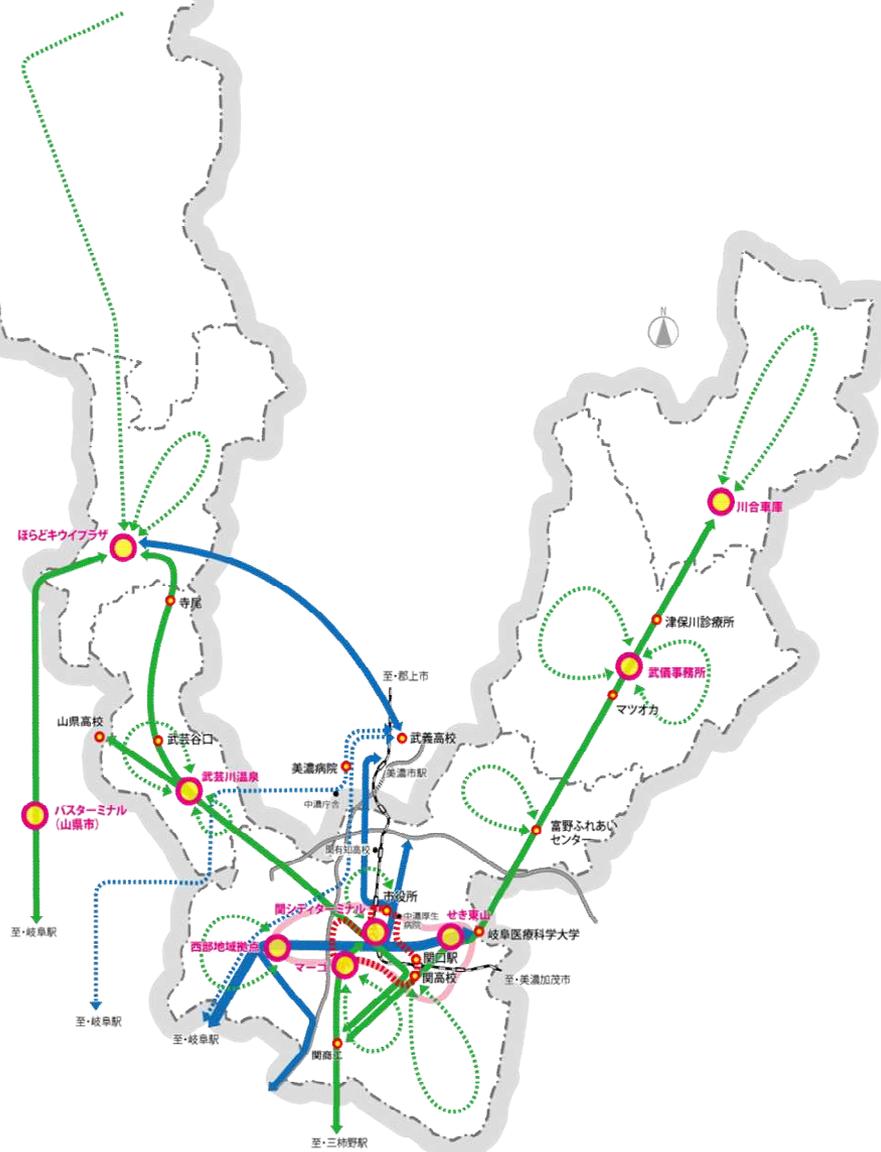
方針2

高齢者が公共交通で日常的な生活ができるサービスの提供

方針3

より多くの人を使いやすい公共交通サービスの提供

地域公共交通ネットワークのイメージ図



目標1 地域住民のニーズを踏まえ、まちづくり連携した公共交通ネットワークの形成

1-4 バス・鉄道の連携強化

- ・関シティバスと鉄道を乗り継ぐ場合、市内在住の高校生に限りバス料金免除 (H30.4~)

H30 申請者4人 R01 申請者4人
(~11末)

目標2 気軽に利用でき持続可能な公共交通の実現

2-3 学生通学支援補助制度の導入

- ・高速名古屋線の通学定期乗車券購入に対して1カ月あたり5,000円補助 (H29.4~)

H30 申請者48人 補助金額1,420,000円

R01 申請者62人 補助金額1,665,000円
(~11末)

目標4 様々な主体の連携による公共交通の維持改善

4-2 地域内における新たな移動手段の導入支援

- ・津保川地域内バスが運行する小中スクールバスを一本化するように提案した結果、登校時のみ提案のとおり運行

目標3 わかりやすく乗って楽しい公共交通づくり

3-2 路線バスの旅「企画乗車券」の導入

- ・岐阜バスと連携し、路線バスの往復乗車券と武芸川温泉又は上之保温泉施設の入浴券をセットにしたお得なきっぷの発売を企画し、販売を開始



3-4 イベント装飾バスの実施

- ・バスへの親しみやその利用促進を目的に、市内の園児が内装をハロウィン仕様に装飾するイベントを開催し、装飾バスを市街地路線で運行



自己評価 関市公共交通活性化協議会 令和2年1月30日(木)

評価指標	目標値	実績値	結果	考察
【指標①】 市街地における1日あたりのバス乗降人数 (人/日)	1,300 人/日 以上	1,367 人/日	達成	関シティバスは買い物循環線が安桜山公園展望台完成などにより利用者数が増えた。上之保・関商工線は利用者の要望を踏まえた時刻変更により利用者数が増えた。
【指標②】 公共交通の維持に必要な市民1人あたりの年間負担額(円/年)	3,900 円/年 以下	4,824 円/年	未達成	人口減少に加え、長良川鉄道の施設維持修繕の補助金が増額した。令和3年度から令和10年度まで鉄道車両を毎年更新する計画があり、今後も負担額は増える見込。
【指標③】 人口1人あたりのすべての公共交通の年間利用回数(回/人)	12.0 回/人 以上	13.1 回/人	達成	高速名古屋線等は学生通学支援補助により増え続ける見込。長良川鉄道は昨年度の災害で運休期間中利用が減った分、今年度は増えた。
【指標④】 人口1人あたりの地域内バスの年間利用回数(回/人)	5.0 回/人 以上	4.9 回/人	未達成	津保川地域内バスは昨年度の災害で利用が減った分、今年度は増えた。洞戸及び板取地域内バスはモネの池など観光特需が落ち着いたので利用が減る見込。
【参考】 市民の満足度向上 (%)	満足 11.2% 以上 不満足 50.8% 以下	満足 14.7% 不満足 37.3%	達成	高校直行便ダイヤ改正や学生通学支援補助などで利便性の向上し、利用促進の効果が反映されたものとする。

路線別評価

路線		①利用者数 (人/日)				②1便あたり利用者数 (人/便)				③利用者1人あたりの補助額 (円/人)				④収支率(参考) (%)			全体 評価
		基準値	H30	R01	評価	基準値	H30	R01	評価	基準値	H30	R01	評価	基準値	H30	R01	
市幹線	関板取線	138.0	145.3	149.4	達成 ↑	10.0	12.1	12.5	達成 ↑	1,000	751	757	達成 ↑	15.0	13.3	13.7	A
	関上之保線 ※	122.0	101.2	100.1	未達成 ↓	9.0	6.1	6.6	未達成 ↑		1,465	1,387	未達成 ↓		7.3	7.2	C
関地域 幹線系	買い物循環線	62.0	123.6	124.0	達成 ↑	5.0	8.4	8.4	達成 →		400	439	達成 ↑		16.3	16.5	A
	市街地病院循環線	50.0	24.1	27.2	未達成 ↑	4.0	2.0	2.8	未達成 ↑		1,425	1,396	未達成 ↓		5.4	5.7	C
関地域 支線系	小金田線	50.0	44.7	44.7	未達成 →	8.0	9.1	9.1	達成 →		773	868	達成 ↑		8.8	8.4	A
	千疋線	43.0	22.7	20.9	未達成 ↓	7.0	4.6	4.2	未達成 ↓		1,061	1,287	未達成 ↑		6.8	6.0	B
デマンド バス	富野線	設定 しない	3.7	3.5	- ↓	2.0	1.4	1.3	未達成 ↓	設定 しない	3,982	4,603	- ↑	設定 しない	3.3	3.5	B
	田原線		4.9	3.7	- ↓	3.0	2.1	1.8	未達成 ↓		2,358	2,774	- ↑		3.3	3.5	B
	迫間線		13.5	13.4	- ↓	2.0	2.7	2.6	達成 ↓		1,673	1,811	- ↑		3.3	3.5	B
	向山線		13.8	12.7	- ↓	3.0	3.1	2.8	未達成 ↓		2,043	2,204	- ↑		3.3	3.5	B
デマンド タクシー	下有知地区		9.6	10.1	- ↑	1.5	1.4	1.4	未達成 →		1,619	1,594	- ↓	15.0	13.8	14.0	B
	瀬尻・広見地区		2.5	2.3	- ↓	1.5	1.2	1.2	未達成 →		1,877	2,062	- ↑		12.1	11.7	B

路線太字＝国庫補助対象路線

※関上之保線は地域間幹線系統であるため県協議会で評価を行っている。

路線名	評価	考察
関板取線	A	前年比2.9%増。通学や通勤利用が多く、利用は堅調。
関上之保線	C	沿線人口3.2%減であるが、前年比1.1%減に止まっている。
買い物循環線	A	前年比0.3%増。買い物だけでなく、通院利用を取り込めている。
市街地病院循環線	C	同じ市街地を循環する買い物循環線の20%程度の利用規模で、その役割を果たせていない。
小金田線	A	団地と商業施設を結ぶ生活路線として機能。百年公園バス停新設の効果が定着していない。
千疋線	B	前年比7.7%減。買い物利用が減少し、百年公園バス停新設の効果が定着していない。
デマンドバス	B	全地域で利用者減。乗降所新設の効果が定着していない。
デマンドタクシー	B	両地区とも昨年と同程度の利用者数。受付費用（人件費）の上昇により補助額は増加傾向。

課題1 路線別評価に応じた改善（特に必要性があるもの）

(1) 市街地病院循環線

現 状 4年前と比べて 利用者数：**1,443人減** 利用者1人あたりの補助額：**197円増**

対応方針 市街地の他の路線も含めた見直しの中で発展的に解消する。

メリット 買い物循環線を増便する経費が捻出できるので利便性が上がる。

対応状況 令和元年5月に関板取線とともに乗降調査を実施。

令和2年10月から路線再編実施予定。

(2) 関上之保線

現 状 4年前と比べて 利用者数：**5,395人減** 利用者1人あたりの補助額：**36円増**

令和2年度から地域間幹線系統国庫補助対象外。

対応方針 減便や短縮し、津保川地域内バスによりカバー。

メリット ○津保川地域内バスの利用者増加。

○関上之保線の経費削減。

対応状況 平成30年4月から平日上下4便の一部運行を津保川地域内バスに移行。

路線短縮のため、事業者及び津保川地域バス運営協議会と時期を含めて検討中。

課題2 地域内バスの運営形態の見直し

対象地域 東ウイング（武儀・上之保地域）

現 状 東ウイングの利用者数減少・負担増加。

対応方針 ・東ウイングの運営事業者を一つに統合。（達成）

・定時定路線から一部運行を定路線型デマンド方式に変更。

メリット ○経費の削減。

○地域間（武儀⇔上之保）の相互乗り入れが可能となり利便性が向上。

○運転手や所有する車両の増加により、車の手配や運行計画が緩和。

対応状況 平成30年4月から東ウイングを「津保川地域」として統合。

平成31年4月から小中学校のスクールバスを一本化。

令和2年4月から武儀地区を自由経路ミーティングポイント型デマンド方式に変更予定。

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

関市公共交通活性化協議会

平成21年3月21日設置

フィーダー系統 平成30年6月28日 確保維持計画策定等

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<p>全体としては民間バス路線、関シティバスともに利用者が増加しており、通学支援制度や広報周知などの利用促進も一定の効果が出ている。</p>	<p>高速名古屋線の通学定期購入に対する補助制度を継続し、2月せき広報に掲載。</p>	<p>引き続き、補助制度を継続して、ホームページ上の掲載や広報により利用促進に努める。</p>
<p>鉄道沿線地域と連携した取り組みを進められるとともに、鉄道とバスの連携強化について、引き続き取り組むこと。</p>	<p>鉄道と関シティバスで通学する市内在住の高校生を対象にした補助制度を継続し、高校に進学する中学校3年生を対象に制度に関するチラシを配布。</p>	<p>引き続き、補助制度を継続して、ホームページ上の掲載、広報及びチラシにより利用促進に努める。</p>
<p>市街地病院循環線と買い物循環線の統合、関上之保線及び地域内バスの見直しなどの検討については、利用状況を把握し、地域公共交通の利便性や効率性が向上すること。</p>	<p>市街地路線見直しのため、関板取線及び市街地病院循環線の利用実態を把握する目的で乗降調査を実施。平成30年度第2回関市公共交通活性化協議会において、路線案について協議。</p>	<p>路線再編に向けて、事業者等と運行形態について打ち合わせ等を行う予定。また、関上之保及び地域内バスに関する見直しのため、利用状況等の把握を行う予定。</p>

1. 出前講座による意見交換会の実施

西部地区で生涯学習まちづくり出前講座の講師として、バスの運行状況や利用方法などを紹介した後、意見交換を行いました。15名ほど参加がありました。「詳しい説明が聞けてとても良かった」などの感想をいただき大変好評でした。



2. 高齢者対象のバス乗り方教室の開催

包括支援センターと連携して、武芸川地区と上之保地区の高齢者を対象にバスの乗り方教室を初めて開催しました。参加した20名が各グループに分かれて目的地を決め、時刻表を確認。実際にバスを利用してもらいました。



3. バス・鉄道の連携強化（目標1 1-5）

長良川鉄道と関シティブাসで通学する市内在住の高校生を対象に関シティブাস料金を割引する補助制度を今後も継続します。高校生の通学利用促進と関口駅・関シティブターミナルでの乗継利用を促進することによるバス・鉄道の連携強化を進めました。

通学利用者が円滑に乗り継いで帰宅できるようにするため、長良川鉄道の時刻に合わせて関上之保線のダイヤを改正しました。

さらに、中学校3年生を対象に、高校別通学方法のルート図や、片道料金・通学定期料金その他、乗継証明制度の案内を載せたチラシを引き続き作成・配布しました。今後も継続してPRを進めます。

高校に進学される皆さん 路線バスで通学しませんか？
関市の公共機関は乗継で通学される皆さんのために地域に合わせた便利に連携してまいります。詳しくは、利用希望の路線等（図1）を照会し、通学方法の相談をおこなうことができます。

関高校・山県高校に通学される方へ
 関板取線をおすすめします。ほらどきアップから乗継をしくなくも通えます。

関板取線	関板取線	関板取線	関板取線
関板取線	関板取線	関板取線	関板取線
関板取線	関板取線	関板取線	関板取線

武芸川高校に通学される方へ
 牧谷線をおすすめします。ほらどきアップから乗継をしくなくも通えます。

武芸川高校	武芸川高校	武芸川高校	武芸川高校
武芸川高校	武芸川高校	武芸川高校	武芸川高校
武芸川高校	武芸川高校	武芸川高校	武芸川高校

関商工高校に通学される方へ
 関板取線から知高線への乗継をおすすめします。

関商工高校	関商工高校	関商工高校	関商工高校
関商工高校	関商工高校	関商工高校	関商工高校
関商工高校	関商工高校	関商工高校	関商工高校

関有知高校に通学される方へ
 関板取線から長良川鉄道への乗継をおすすめします。
なお、乗継証明券（図2）を使用すると、関板取線の料金を12,000円（1か月あたり約100円）が安くなるため、大変お得です。

関有知高校	関有知高校	関有知高校	関有知高校
関有知高校	関有知高校	関有知高校	関有知高校
関有知高校	関有知高校	関有知高校	関有知高校

岐阜城北高校・岐阜高校・長良高校に通学される方へ
 岐阜板取線をおすすめします。ほらどきアップから乗継をしくなくも通えます。

岐阜城北高校	岐阜城北高校	岐阜城北高校	岐阜城北高校
岐阜城北高校	岐阜城北高校	岐阜城北高校	岐阜城北高校
岐阜城北高校	岐阜城北高校	岐阜城北高校	岐阜城北高校

※1 料金は令和元年11月1日現在のものです。
 ※2 長良川鉄道と関シティブスの乗継証明券制度については乗継券に確認ください。
 関市役所都市計画課総合交通情報室
 TEL 0578-23-7981（直通）